

令和4年秋 叙勲・褒章受章者紹介

☎ 秘書課 ☎ 内線 1112

	章	氏名	主要経歴
秋の叙勲	旭日双光章	岡田重信さん	元取手市議会議員
	旭日単光章	小笠原章一さん	現茨城県少林寺拳法連盟副会長
	瑞宝中綬章	山木康孝さん	元公正取引委員会事務総局経済取引局取引部長
秋の褒章	藍綬褒章	岩田潔久さん	現取手市消防団団長
危険業務従事者叙勲	瑞宝双光章	鎌倉巧さん	元3等空尉
	瑞宝双光章	杉田了さん	元警視庁警部
	瑞宝単光章	小池弘彦さん	元東京消防庁消防司令
	瑞宝単光章	田中明良さん	元警視庁警部
	瑞宝単光章	望月敏明さん	元東京消防庁消防司令

※本人の希望で掲載していない方がいます。

シニアのスマホ体験教室

☎ 情報管理課 ☎ 内線 1152

生活に役立つ機能のほか、デジタル化が進む市からのお知らせの取得や、手続きにも便利なスマートフォンの操作を体験できます。未所有者向けと初心者向けの二つのコースがあります。参加費は無料です。

◆会場と日時

会場	開催日(令和5年)	時間
藤代庁舎	1月16日(月)	各日 ・9:30～12:00…未所有者向け ・13:30～16:00…初心者向け
永山公民館	1月19日(木)	
福祉交流センター(市役所敷地内)	1月23日(月)	
六郷公民館	1月26日(木)	

◆内容

- ・未所有者向け…基本的な操作方法、電話・メール、カメラ、インターネットの使い方など
- ・初心者向け…カメラ、アプリ、LINEの使い方など(通料金は自己負担)

講師	携帯ショップスタッフ
対象	スマートフォンに興味のある高齢者
定員	各回先着15人(申込人数が少ないときは中止する場合あり)
持ち物	スマートフォン(お持ちの方のみ)
申込	電話
申込期間	12月19日(月)～27日(火)(平日のみ)

ひだまりのひマルシェ同時開催

高須の空に、大凧を揚げます!

☎ 取手アートプロジェクト実行委員会(TAP) ☎ 84-1874(火・金曜日 13:00～17:00)、文化芸術課 ☎ 内線 1292

TAPの「大空凧プロジェクト」では、半農半芸の取り組みの一環として、かつて高須地域で行われていた凧揚げの復活に取り組んでいます。今年は、高須やおもんまが採れた植物から作った顔料で色を付けたわら紙を使って、6畳の大凧1枚と小凧300枚程度を作り凧揚げをします。

◆大空凧プロジェクト 高須で空あそび

日時 令和5年1月22日(日) 10:00～12:00
※荒天の場合は1月29日(日)

場所 高須公民館近くの農道など
※旧高須小学校校庭(高須2151)が駐車場です。駐車場には限りがあります。観覧の際は、周囲の状況に配慮してください。



詳細はコチラから



TORIDE ART PROJECT
あしたの郊外

◎文化庁令和4年度文化芸術創造拠点形成事業、自治総合センター 令和4年度地域の芸術環境づくり助成事業の助成を受けています。

◆同時開催! ひだまりのひマルシェ

コロナ禍の影響で2年間開催を見送っていた「ひだまりのひマルシェ」を再開し、丁寧に作られた食品やすてきな雑貨を提供します。

日時 1月22日(日) 11:00～14:00(なくなり次第終了)
場所 ひだまりのはらっぱ((社)身障者ポニーの家・隣地の畑)
※旧高須小学校校庭(高須2151)が駐車場です。



令和4年を写真で振り返る動画公開

☎ 魅力とりで発信課 ☎ 内線 1193

1ページ「令和4年を写真で振り返る」記事に掲載したものを含めた、厳選した写真を動画にまとめました。

取手市の1年を象徴する写真を選びました



市長 Mayor's column コラム

取手市総合防災マップ(保存版)の活用を



取手市長

藤井信吾

皆さまのお手元に「取手市総合防災マップ(保存版)」が届いたでしょうか。50ページにもなる分厚いものですが、平常時のうちに、家族全員で目を通していただきたいと思います。

自分たちが住んでいる地域の地理的な特性を正確に知り、適切な備えを事前に行い、家族でいざという時に、「いつ、だれが、何をするか」を決めておけば、慌てず落ち着いた避難が可能です。仮に被害に遭ったとしても、結果として最小限にとどめることができます。

初めの6ページに、避難に関する情報や行動原則、災害の種別に応じた注意事項が、詳細に書かれています。そして、巻末の47ページ以降は、今日時点でのわが家の備えがどこまで

きているのか、実際に鉛筆を持って確認できる内容です。不十分なところは早期に補い、準備万端に整えるためにご活用ください。

さて、7ページから42ページのマップ部分ですが、利根川・小貝川別の洪水ハザードマップに加えて、茨城県南部の地震を想定した、「揺れやすさマップ」、「液状化しやすさマップ」を取り入れたことが一つの特色です。地盤が弱いところでは、液状化の可能性が非常に高く、大きな被害が発生しかねません。

また、今回初めて、「利根川・小貝川 浸水継続時間」というマップを掲載いたしました。その定義は、浸水深が50cmになってから、50cmを下回るまでの時間という意味です。想定

最大規模降雨に伴って、利根川・小貝川が氾濫した場合、浸水時間が1週間から2週間未満という表示の範囲内に、かなりの住宅地が入っています。

市では、今年、浸水想定エリア内の自主防災会長や市政協力員、民生委員・児童委員など地域防災の要となる皆さまと3回にわたる防災セミナーを開催し、それぞれの地域のコミュニティタイムラインを作成しました。どんな災害がいつ起きても対応できるよう、「自分たちの地域は自分たちで守る」、「自分の身は自分で守る」という一人一人の意識と早期の行動がとても重要となります。

この機会に防災意識を高め、迷わず自信を持って行動できるよう、総点検をお願い申し上げます。